



6月のさくらまち習慣

7月も2週間が過ぎ、いよいよ夏休みが目前に迫りました。保護者の皆様との面談では、子供たちの学校生活の様子やご家庭での様子など、大変有意義な情報交換をさせていただくことができました。共有させていただいたことを、今後の学校での指導に活かしていきたいと思います。ご多用な中、学校に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。

さて、6月の「さくらまち習慣」の集計結果が出ましたのでお知らせします。(子供たちに達成率を1～4の4段階評価をしてもらい、4「よくできた」の割合を示したものです。)

		4月	5月	6月
さ	ワンストップあいさつ	59%	64%	66%
く	クリエイト3つのかまえ	48%	58%	64%
ら	ランラントラック走り	48%	47%	53%
ま	マナー守るよ はしっこ歩き	45%	43%	47%
ち	ちいさなことからあったか言動	62%	58%	62%

全ての項目で5月を上回る結果になりました。特に「クリエイト3つのかまえ」と「ランラントラック走り」は6ポイント上昇しています。

7月は1学期の締めくくりの月。このポジティブな結果を子供たちと共有し、今後も落ち着いた生活を維持しながら夏休みを迎えられるようにしていければと思っています。

2年 町探検



スマホ（メディア）の利用について

スマホは、コミュニケーションツールとして、私たちの生活になくてはならないものです。バスや電車の中は、スマホを利用する人で溢れています。あの小さな画面で、世界中の人々とつながることができ、本当に便利な道具です。今や大人だけでなく、子供たちも使うようになってきました。スマホ所持の低年齢化が進んできています。

スマホは便利ですが、使い方を間違えると、とても危険な道具になります。「いじめ」など、トラブルのもとになったり、様々な犯罪に巻き込まれるなど、取り返しのつかない事件に発展したりすることもあります。ですから、子供にスマホを使わせるならば、子供と話し合って約束事（ルール）を決め、それをしっかりと守らせることが大切です。

- 使用時間 「夜〇時まで」「〇時になったら電源を切る」等
- 使用する場所 「居間」「自分の部屋には持ち込まない」等
- 使用してはいけない時 「食事中」「勉強中」等
- してはいけないこと 「課金」「人の悪口」「勝手に人を写さない」等
- 約束事を守れなかったら 「1週間使用禁止（親に返す）」等

(長崎県メディア安全指導員より)

スマホはもともと親が所有しているもので、親の許可の上で子供が使うものです。子供は、親から貸してもらっているという感覚を持って使うべきだと考えます。ですから、話し合っただけの約束事をしっかり守らせるとともに、親は、時々中を確認すること、フィルタリング・機能制限をつけることも必要です。

子供がスマホ（メディア）を使うことによって、「睡眠」「勉強」「外遊び」「家の手伝い」など、成長期の子供にとって本来必要な時間が削られる可能性もあります。子供に使わせるならば、しっかりとした正しい使い方をさせていきたいものです。

「アイ・メッセージ」と「ユー・メッセージ」

これは、臨床心理学ではとても有名な話です。子育ての参考になるかもしれないと思いましたので少し紹介します。

「ユー・メッセージ」というのは、「あなた」が主語になるメッセージです。

『まったく、あなたは食べるのが遅いんだから！』

『あなたって本当に片付けが下手ね！』

『あなたはいつも口答えばかりして！』

こういう内容です。「ユー・メッセージ」は、相手に不平不満をぶちまけることになります。その結果、相手を全否定することにつながり、相手が傷ついてしまうことが起こりがちです。

一方の「アイ・メッセージ」というのは、「私」が主語になるメッセージです。「ユー・メッセージ」だとどうしてもギスギスした感じになりますので、それを和らげながらも意思だけは相手にしっかりと伝える方法です。

『私は、早く食べてくれると嬉しいわ！』

『私は、あなたが片付けてくれると助かるわ！』

というように、「私」を主語にして、最後は肯定的な言葉で締めくくるものです。決して「私」を主語にして自分の欲求だけを主張することではありません。あくまでも相手の人格を尊重した上で、「～してくれると嬉しいわ」「～してくれると助かるわ」と、いい感じで相手に伝えようとするものです。

同じ内容であっても、「ユー・メッセージ」を「アイ・メッセージ」にするだけで相手への伝わり方が変わり、相手を必要以上に不愉快にすることもなくなります。

5年 科学館見学

